



第7図 1988年6月14日の 4 mmh^{-1} 以上のエコーの移動。白丸は、エコー域の中心。数字は観測時刻を示す。

クラスターの発達段階に関係していると考えられる。

5. レーダーデータ解析プログラムの概要と解析事例 波部俊夫・岩倉晋（気象庁東京管区気象台）

5.1 はじめに

小規模じょう乱の特性を調査するために、レーダーのデジタル化されたデータを利用した解析プログラムを開発した。対象とするじょう乱以外のスケールに対しても

利用可能である。

5.2 プログラムの概要

プログラムの概要について簡単に示す。

①レーダーサイトを指定し（現在は、富士山、名古屋、福井、新潟のみ）、解析エリアの設定を行える（解析エリアは 100×100 メッシュの大きさで、画面上の任意の位置に設定できる）。

②レーダーエコーをクラスター（以下、簡単のためセルとよぶ）に分離し、各セルの中心位置のプロットや輪郭の描画ができる。

③動画機能を用い、一つのセルの追跡を半自動で行える。

5.3 解析事例

第6図は1986年6月19日に群馬県西部に発生したエコーが利根川に沿って南東進しながら次第に発達し、エコー全体として反時計廻りの回転を示した例である。

第7図は1988年6月14日に群馬県北部と西部に発生したエコーの解析結果（エコーありと判別するエコーレベル 4 mm/h^{-1} を以上に設定）を作図したものに、降ひょうのあった地点（▲）をプロットしたものである。

5.4 まとめ

このプログラムによって、より客観的に解析を行え、エコーの移動や発達の特徴を明確にできるようになった。今後、さらに多くの機能を付加して使いやすいものにして行きたい。

「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」1990年度の 受賞候補者の推薦依頼について

「女性科学者に明るい未来をの会」（1980年10月創立）では、自然科学の分野で顕著な業績を収めた女性科学者に、毎年、賞（猿橋賞）を贈呈しています。つきましては下記の要領により第10回（1990年）受賞候補者のご推薦を、お願いいたします。

記

1. 本賞は自然科学の分野で顕著な業績をおさめた女性科学者（ただし、下記の推薦締切り日で50歳未満）に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞金（30万円）をそえ

ます。

3. 本賞の贈呈は、1年1件（1名）とします。
4. 第10回の贈呈式は、1990年5月、東京において行う予定です。
5. 同封用紙に受賞候補者の略歴、推薦理由（400字程度）、主な業績文献リスト等を記入して、1989年11月末日（到着）までに、下記宛にお送りください。

女性科学者に明るい未来をの会

〒166 東京都杉並区高円寺北 4-29-2-217

電話 03-330-2455